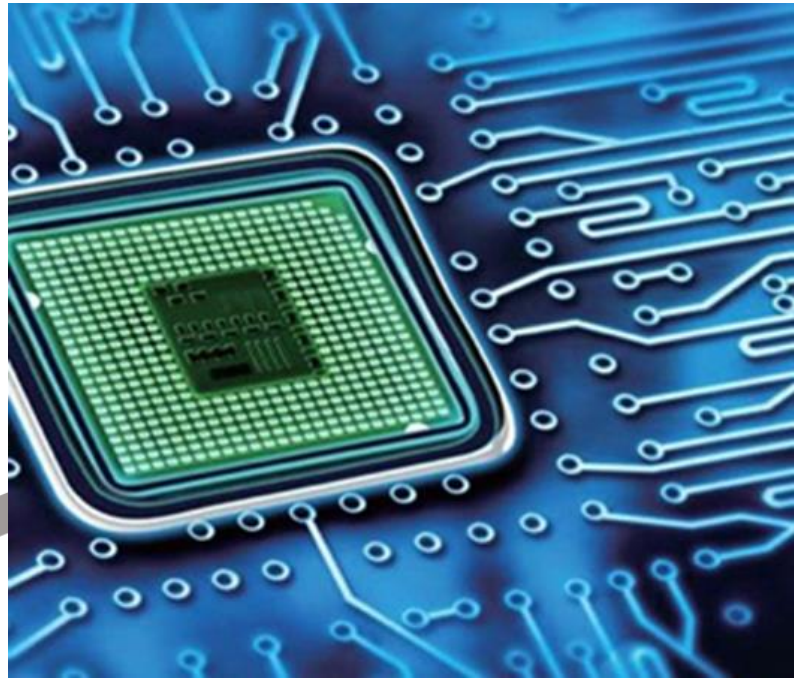
The Partner For Success ZUKEN

中期経営計画
（2019年 4月-2022年 3月）

進捗と今後の見通しについて



2020年 12月 4日

株式会社 図 研

東証一部上場　証券コード 6947

目 次

■ 3か年計画後半に向けて

■ 2年目上期までの進捗と今後の見通し

図研について 【ご参考】

ZUKEN
The Partner For Success

3か年計画後半に向けて

今期見通しと3か年計画最終年度に向けた進捗

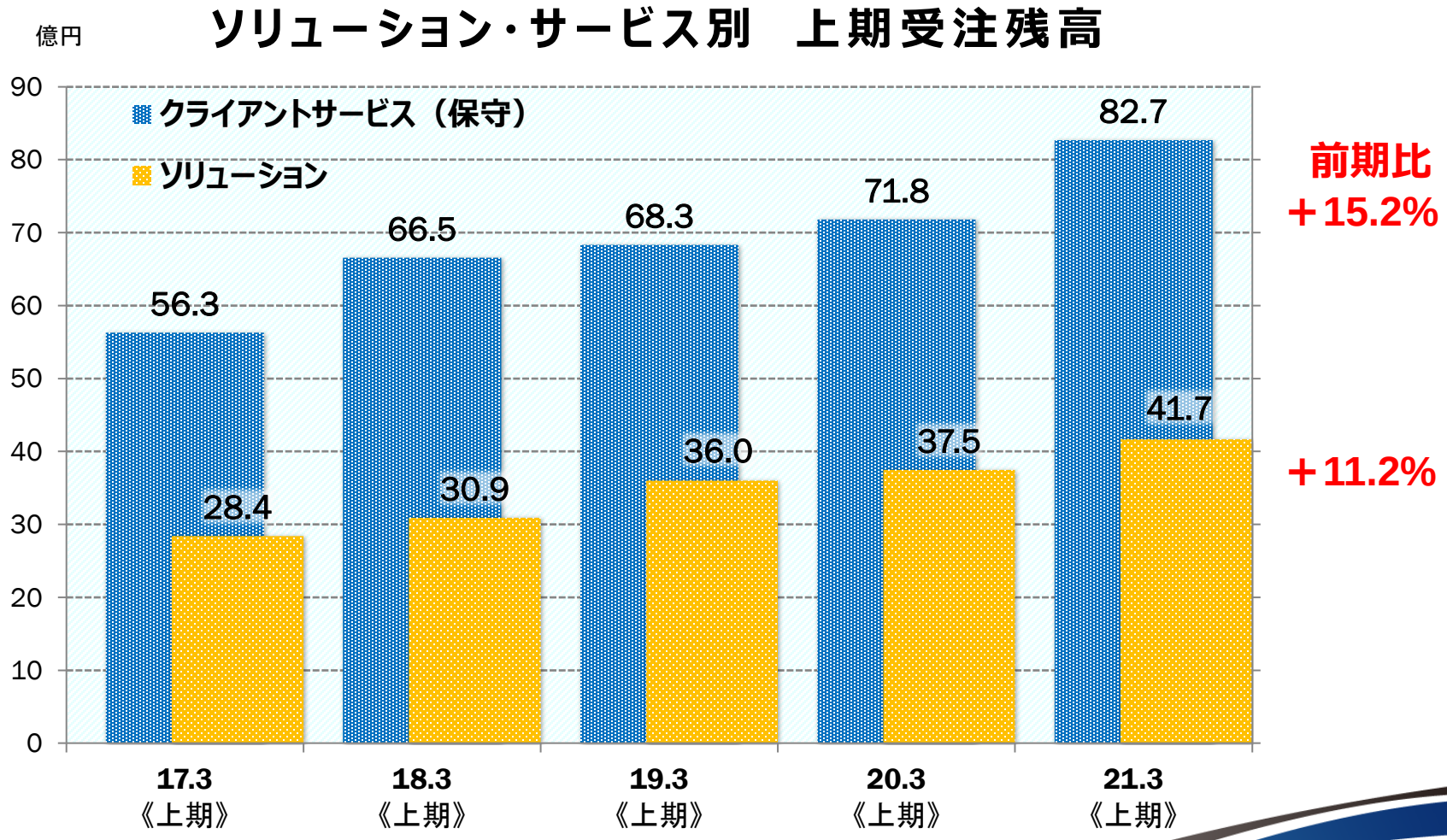
① 2年目上半期は減収・減益だったが、
受注残は高水準であり、通期見通しは維持

② MBSE手法のツール・ソリューションへの
展開準備が順調に進展

③ 顧客のリモート設計のためのソリューション拡充、
オンラインセミナー実施、リモートセールスのための
インフラ構築

ZUKEN
The Partner For Success

上期末での受注残高の推移



受注残高の水準は過去最高

ZUKEN
The Partner For Success

製品分野別　上期受注残高

受注残高（百万円）	20.3《上期》	**21.3《上期》**	増減	
基板設計ソリューション	893	**1,110**	+217	**＋24.3%**
回路設計ソリューション	1,437	**1,427**	▲10	**▲0.7%**
ITソリューション	1,417	**1,650**	+233	**＋16.4%**
クライアントサービス	7,179	**8,267**	+1,088	**＋15.2%**
計	10,925	**12,456**	+1,530	**＋14.0%**

回路設計ソリューションは、前期の大型受注分をカバーしきれず

ZUKEN
The Partner For Success

地域別　上期受注残高

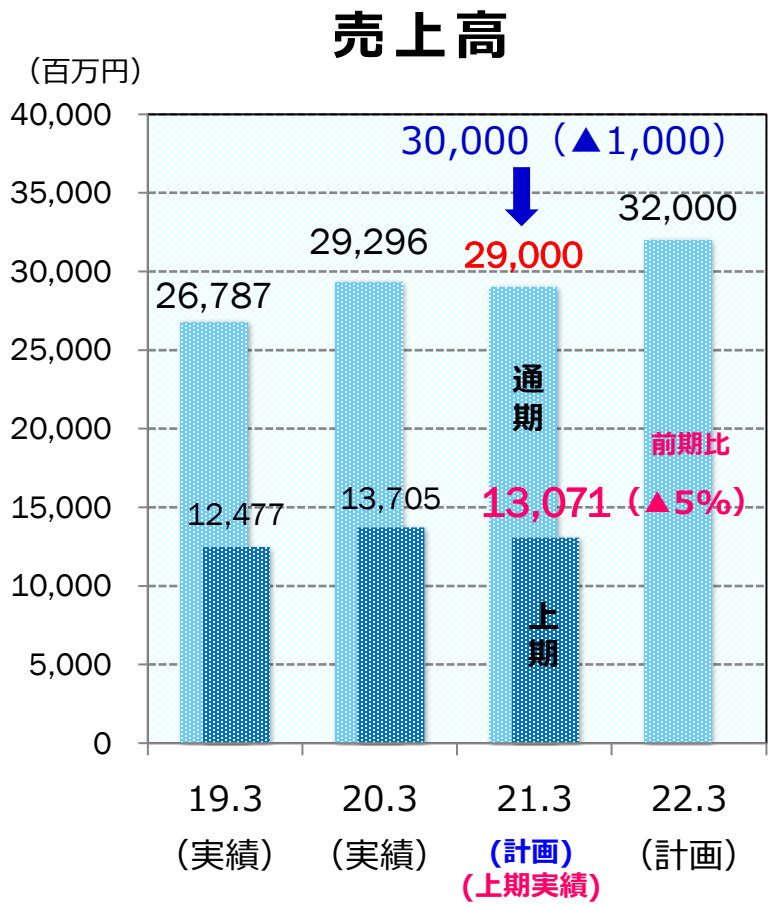
受注残高（百万円）	20.3《上期》	**21.3《上期》**	増減	
日　本	8,258	**9,560**	+1,301	**＋15.7%**
欧　州	1,335	**1,252**	▲82	**▲6.2%**
米　国	978	**1,182**	+204	**＋20.9%**
アジア	354	**460**	+106	**＋29.9%**
計	10,925	**12,456**	+1,530	**＋14.0%**

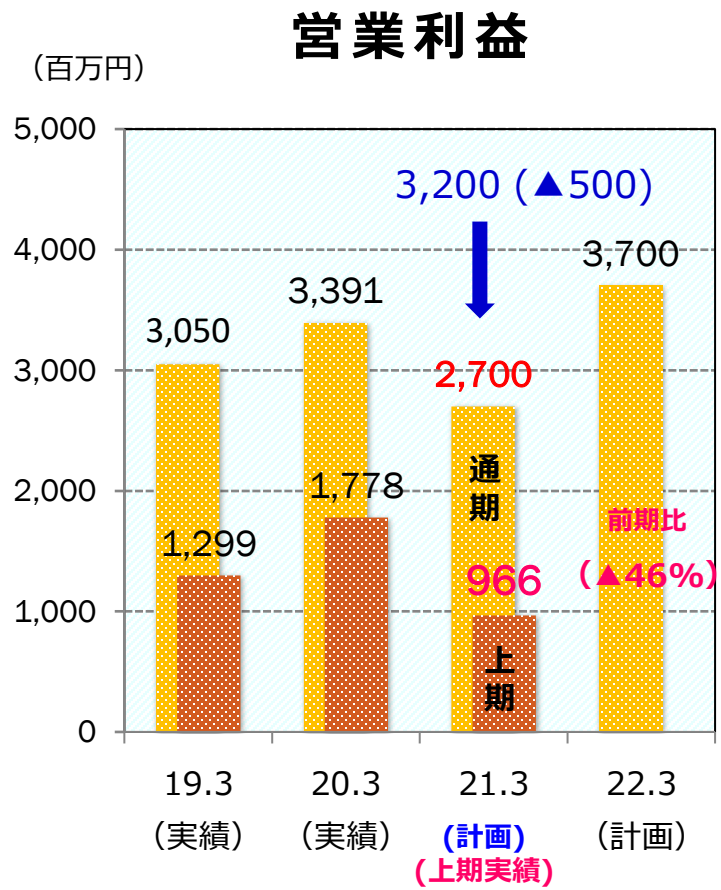
PDM製品・セキュリティー製品の需要増により、日本国内の受注残高増加

ZUKEN
The Partner For Success

2年目上期までの進捗と今後の見通し

中期売上・利益目標と当上期実績



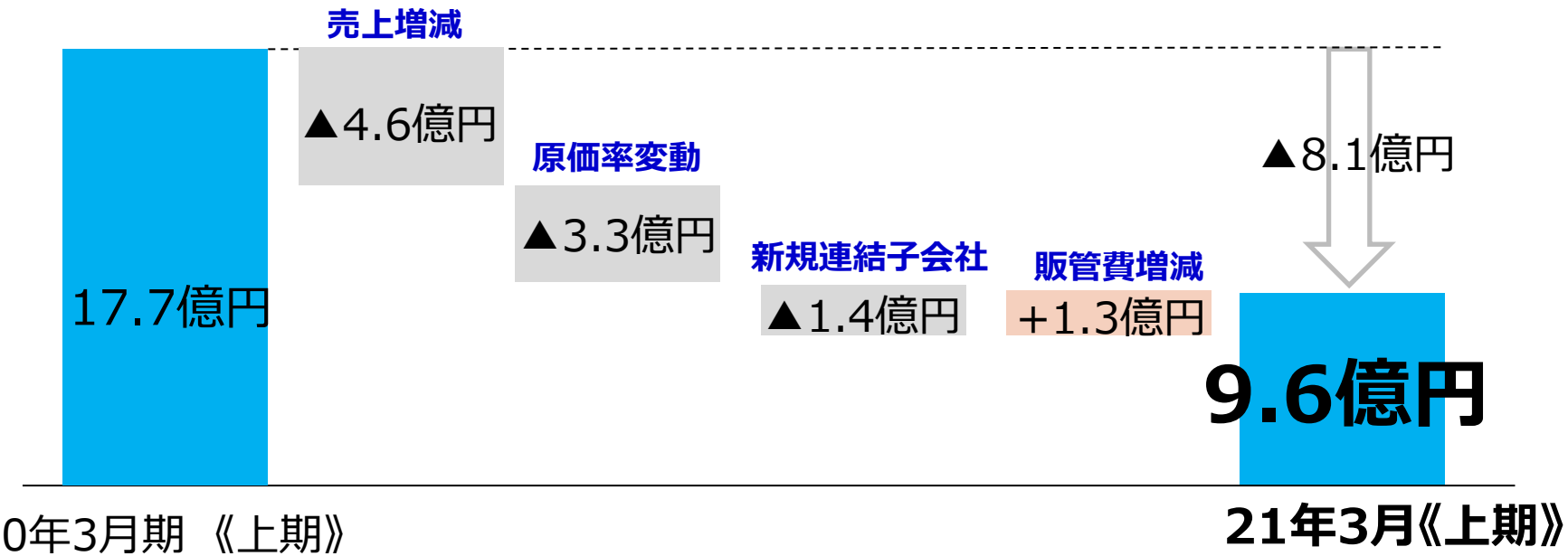


※　中期経営計画の前提為替レート　1USドル＝**108**円　1ユーロ＝**120**円

世界的な市場の混乱、営業活動が制限される状況下であることを考えれば、底堅い水準

ZUKEN
The Partner For Success

上期営業利益増減要因



原価率上昇

- 外部購入品であるネットワークセキュリティ製品の売上増による製品ミックス要因による

モデルベース開発関連の子会社

- 新たに連結子会社になったMBSE関連会社の立ち上げ直後の先行投資による赤字
- のれん

販管費減少

- コロナによる活動自粛（出張費減、展示会参加費用減、ユーザーカンファレンス費用減等）

ZUKEN
The Partner For Success

【参考】 ソリューション別　上期販売実績

売上高（百万円）	20.3《上期》	**21.3《上期》**	増減	
基板設計ソリューション	2,297	**1,843**	▲454	デザイン・オートメーション
回路設計ソリューション	3,325	**2,674**	▲650	
ITソリューション	2,719	**2,922**	+203	データマネジメント
クライアントサービス	5,363	**5,630**	+267	保守サービス
計	13,705	**13,071**	▲634	

ZUKEN
The Partner For Success

【参考】 製品区分について

【各製品区分に含まれる主な製品】

短信等での製品区分	含まれる主な製品
デザインオートメーション	
基板設計ソリューション	CR-8000 Design Force CR-8000 DFM Center CR-5000 Board Designer
プリント基板	CR-8000 Design Gateway CR-8000 System Planner
回路設計ソリューション	E3.series
ワイヤハーネス	Cabling Designer Harness Designer
データマネジメント	
ITソリューション	DS-2, visualBOM Knowledge Explorer Fortigate（NWセキュリティ）
上記各分野に振分け	
クライアントサービス他	（各製品の保守サービス）

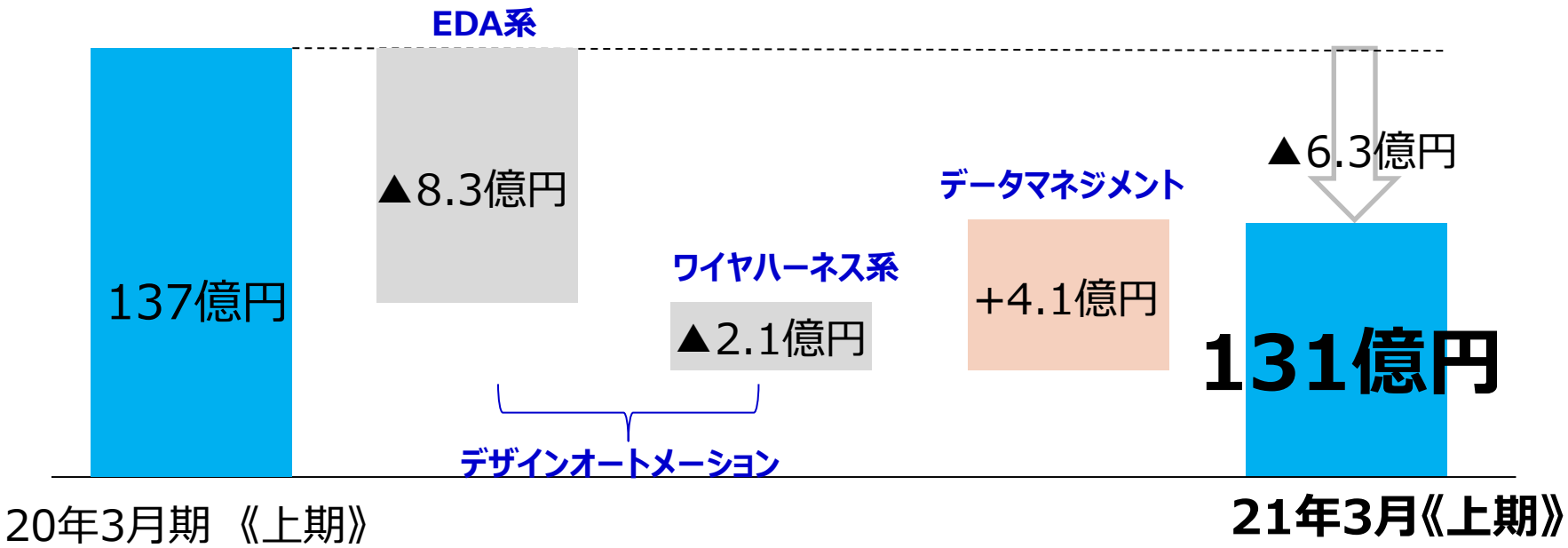
ZUKEN
The Partner For Success

製品分野別　上期の販売実績と前年対比

製品分野　（百万円）	20.3 《上期》	21.3 《上期》	増減	
デザイン・オートメーション	9,237	8,197	▲1,039	▲11.3%
（内、ワイヤハーネス設計）	(2,558)	(2,345)	▲213	▲8.3%
データマネジメント	4,468	4,873	+405	＋9.1%
売上高　計	13,705	13,071	▲634	▲4.6%

ZUKEN
The Partner For Success

製品分野別　上期販売実績



EDA（電子機器設計）

- 国内外とも不安定な市場環境により既存顧客のプロジェクトの遅延が発生
- 自動車関連（サプライヤ含む）、電子部品などを中心に設計環境改革の投資意欲は底堅い

ワイヤハーネス設計

- 不安定な市場環境により需要が低迷、既存個客とのプロジェクトも遅延しがち
- 工場向けDXソリューションは今後市場拡大が期待されるが現状は動き鈍い

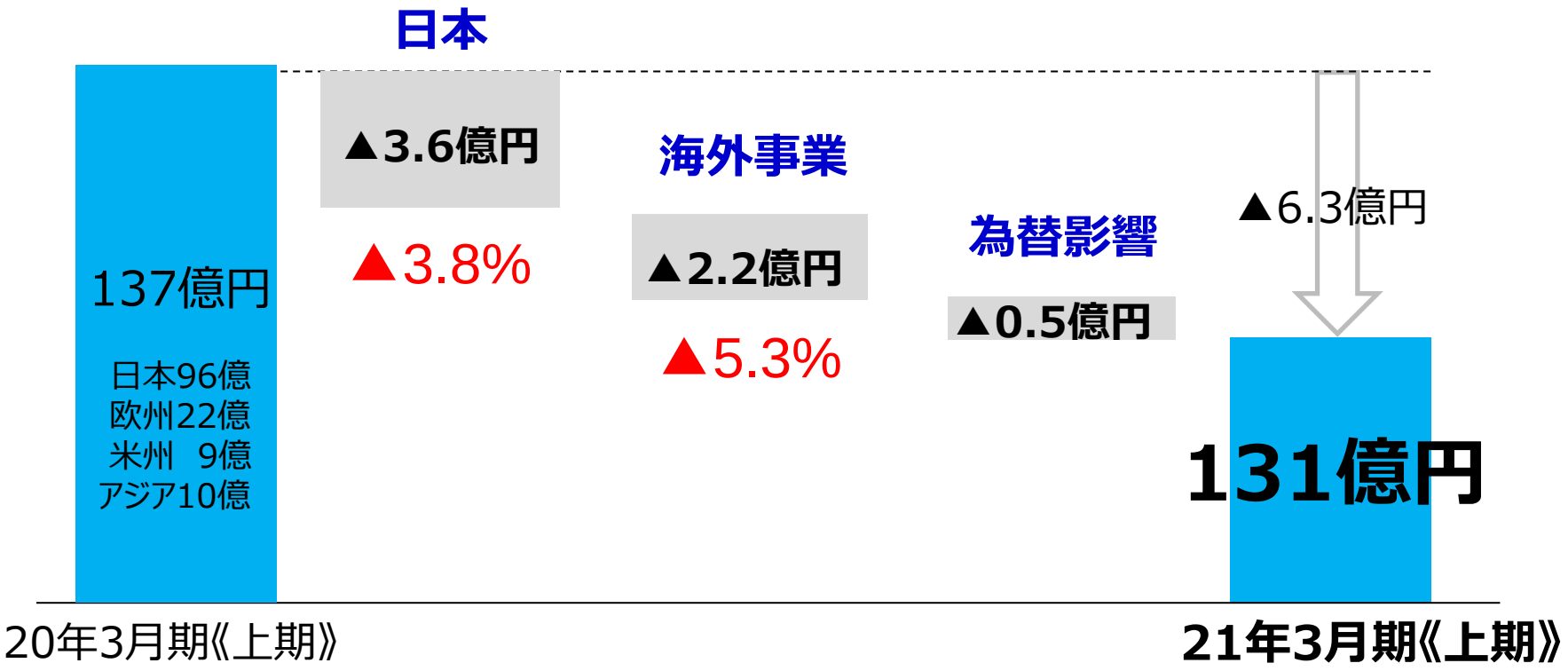
データマネジメント

- PDM製品は、前期の高水準を引き続き維持（設計効率化ニーズ）
- セキュリティ関連ソリューション（関係会社取扱）は、コロナ下の状況でむしろ需要にプラスの影響

ZUKEN
The Partner For Success

海外事業　上期販売実績

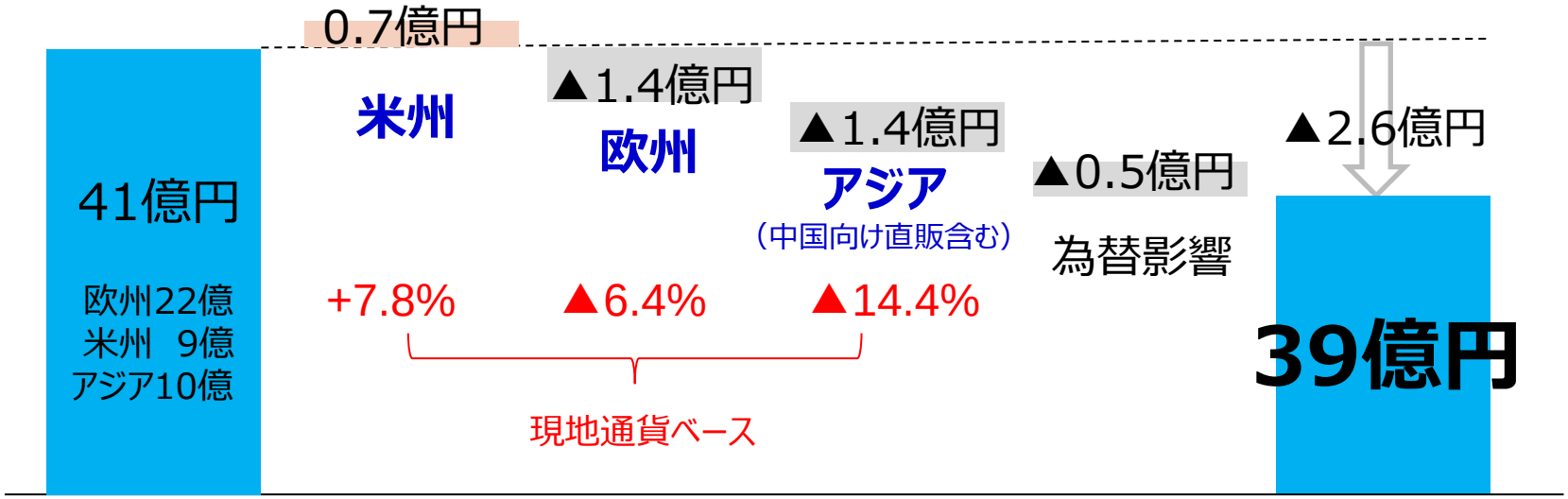
20.3期上期累計期間の平均為替レート　1USドル＝109円　1ユーロ＝121円
21.3期上期累計期間の平均為替レート　1USドル＝107円　1ユーロ＝121円



ZUKEN
The Partner For Success

海外地域別　上期販売状況

20.3期上期累計期間の平均為替レート　1USドル＝109円　1ユーロ＝121円
21.3期上期累計期間の平均為替レート　1USドル＝107円　1ユーロ＝121円



20年3月期《上期》　　**21年3月期《上期》**

米州

- 航空機業界など市場環境は厳しく新規受注獲得は難しいが、TBL（＊）案件が多いため収益は、安定
- 買収したVitech社の売上も貢献

＊タイムベースライセンス

欧州

- 大手既存顧客向けサービス（コンサルティングなど）がほぼストップ　継続中のプロジェクトも遅延
- 産業機械分野での新規受注活動も停滞

アジア

- 台湾を除き、各国ともに販売活動は低迷　特にインドは厳しい状況続く
- 中国・韓国・台湾などを中心に経済活動回復の兆しあり下期のビジネス拡大に期待

ZUKEN
The Partner For Success

今後の見通しについて（総括）

- 世界的な新型コロナウイルス感染再拡大により市場環境は不透明で予断を許さない状況だが、
主要顧客の設計環境高度化・最適化の中期的な投資意欲は引き続き底堅い見込み

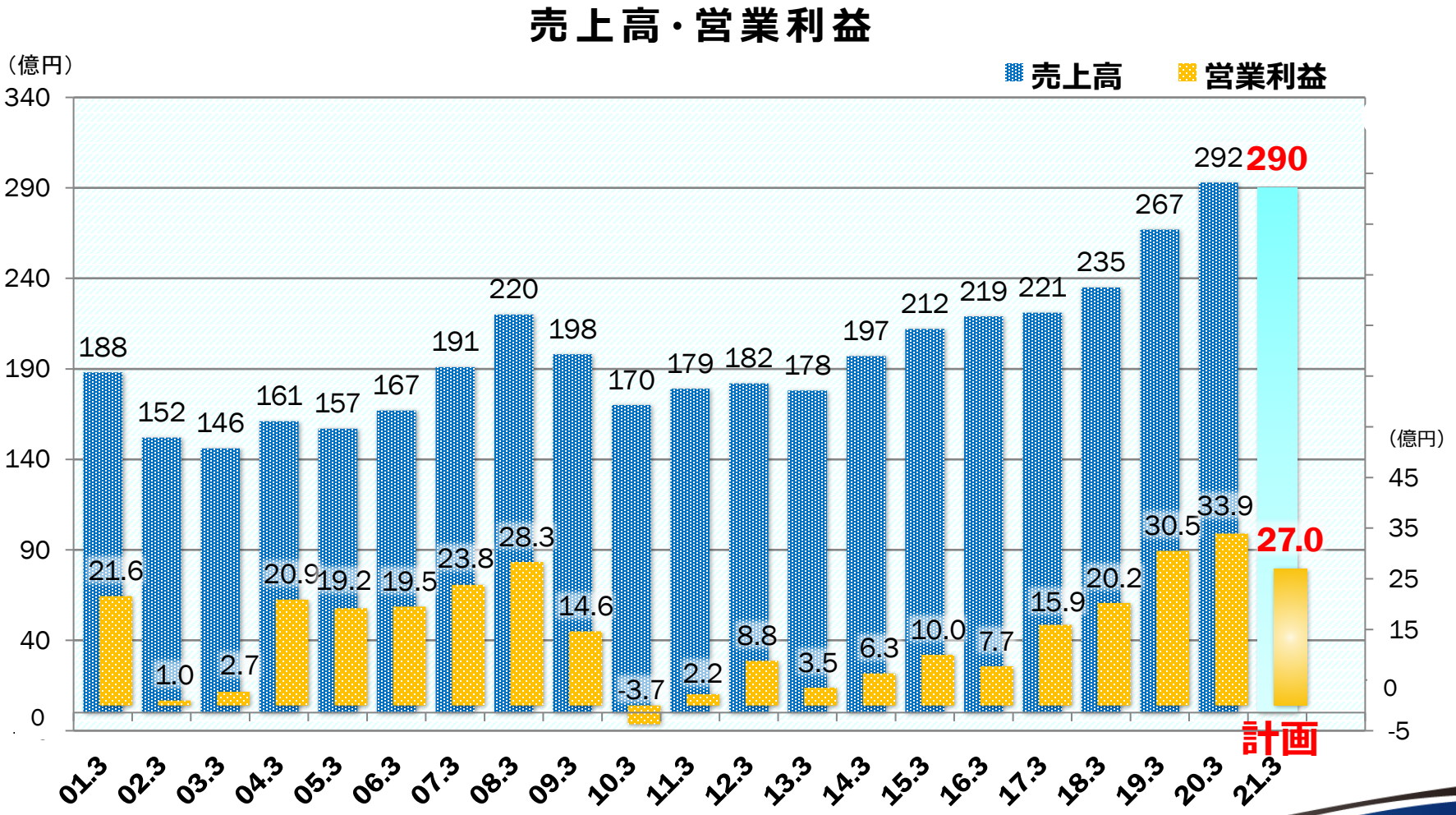
- 「働き方改革」、「DX」など、現下の状況によって加速するIT需要も今後増加が見込まれる

- Withコロナ、Afterコロナの社会環境に合わせた「働き方」も定着　3か年計画後半の巻き返し図る

来期以降の計画は、当初目標を維持

ZUKEN
The Partner For Success

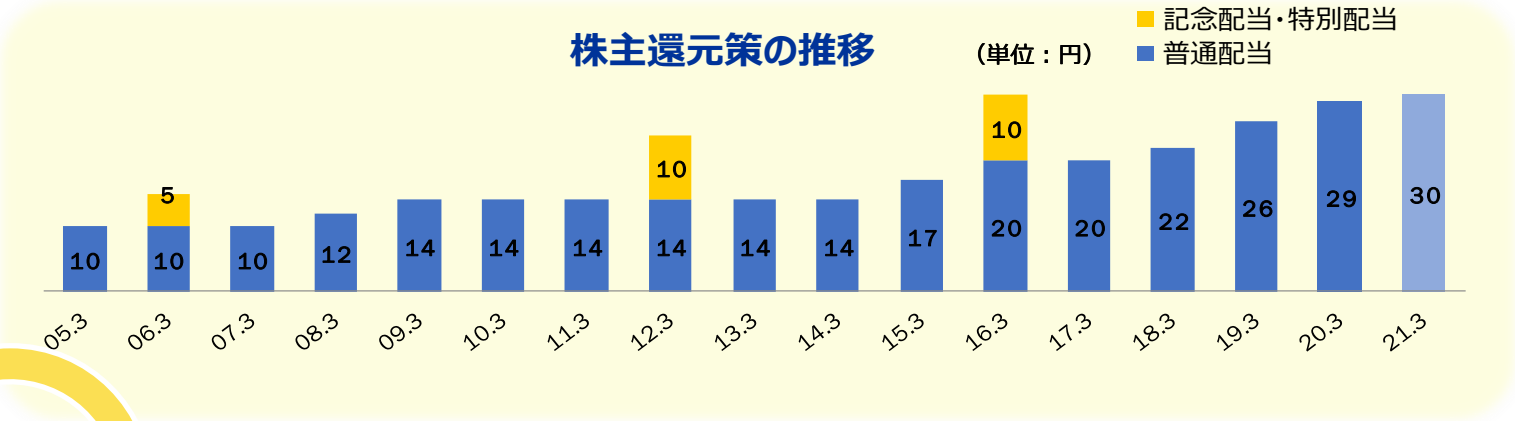
業績の推移（2001-2021計画）



前期は、売上高・営業利益ともに過去最高

ZUKEN
The Partner For Success

利益還元の方針



- 1987年の上場以来、年換算で1株当たり10円以上の配当を継続
- 2008年以降、段階的に増配を実施し、2020年3月期の期末配当は15円となり年間29円の配当
- <u>2021年3月期は年間30円を予定</u>
- 業績や経営環境等を勘案し、適宜、最も効果的な株主還元策を実施

「累進的配当政策」を実行・継続

ZUKEN
The Partner For Success

図研について 【ご参考】

図研グループのDX特設ページ
https://www.zuken.co.jp/dx/

図研について

株式会社 図研 （ZUKEN Inc.）

設立： 1976年（昭和51年）12月17日

資本金：101億1,706万5千円

従業員： 単体426人　連結1,447人
（2020年9月末現在）

東証1部上場（証券コード6947）

- **世界市場でシェアを持つ**
  日本のエンジニアリング ソフトウェア・ベンダー
- **EDA業界で４０年以上の歴史**
  （健全な財務基盤を維持）
- **自社開発に加え、提携、M&A等で機動的に技術を獲得**

ZUKEN
The Partner For Success

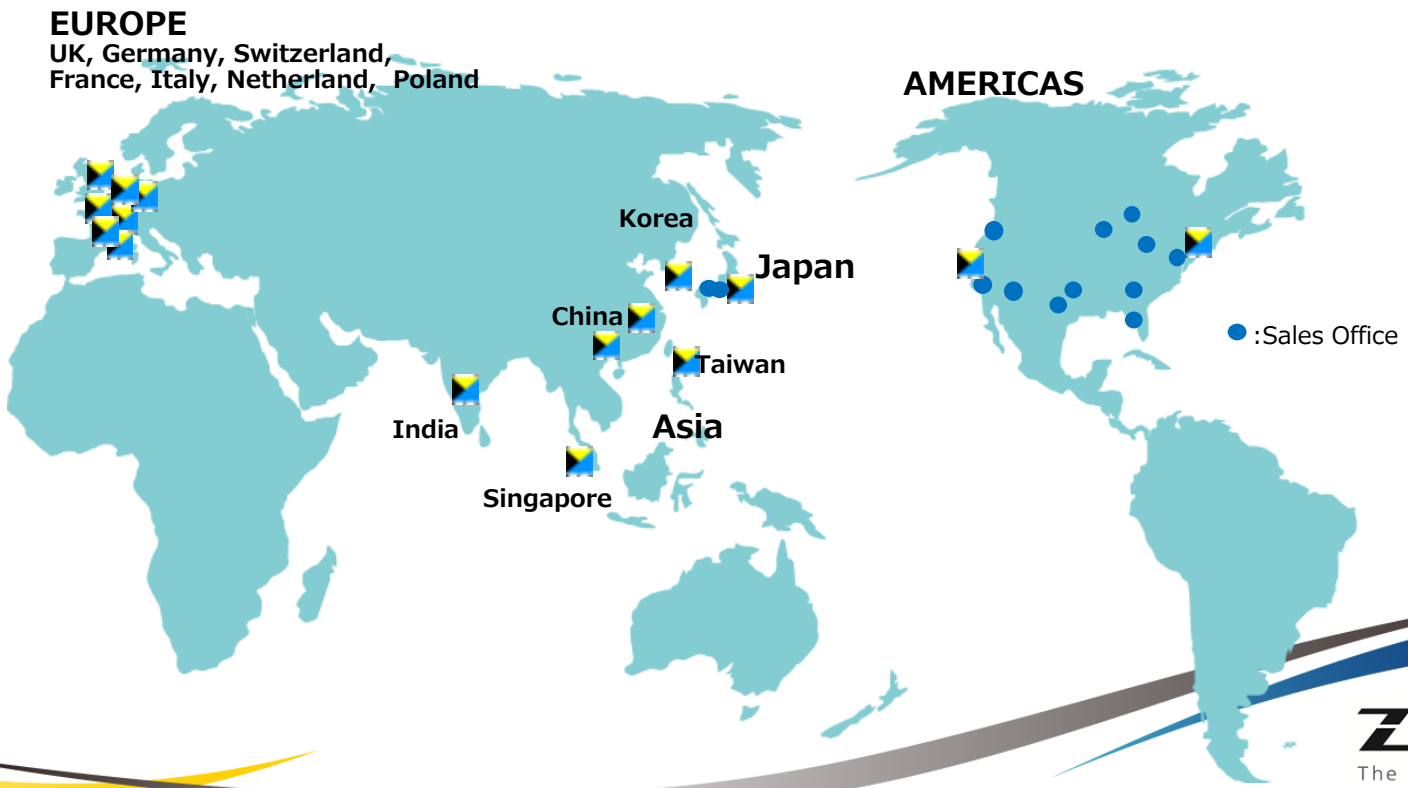
沿革

1976.12	（株）図形処理技術研究所として設立
1978.06	国産初のプリント基板設計用CAD/CAMシステム「クリエイト2000」を開発
1983.11	米国にZuken America Inc.（現・Zuken USA Inc.）を設立
1988.01	CADの新システム「CR-3000」を開発
1991.10	EDA企業として初めて株式を東証2部に上場
1992.01	ドイツにZuken Europe GmbH（現・Zuken GmbH）を設立
1992.01	韓国ソウル市にZuken Korea Inc.を設立
1992.08	シンガポールにZuken Singapore Pte. Ltd.を設立
1994.04	EDA垂直統合ソリューション「CR-5000」を開発
1994.06	レーカル・リダック社（英）の全株式を買収
1994.09	東証1部へ指定替え
2000.03	インケイシス社（独）の全株式を買収
2002.03	自動車用ワイヤハーネス設計環境の提供開始
2002.06	中国上海市に上海テクニカルセンターを設立
2004.02	E&E業界に特化したPLMソリューション「ePLMプラットホームDS-2」発表
2005.08	台湾にZuken Taiwan Inc.を設立
2006.05	CIM-TEAM社（独）を買収
2007.06	CATIAV5をベースとした「V54EE」を発売
2009.06	PLMソリューションの新製品「PreSight」を発表
2010.05	ラティス・テクノロジー （株）と資本提携、トヨタ自動車（株）に次ぐ第二位の株主に
2011.06	BOMと超軽量三次元フォーマットXVLを統合した「visual BOM」を発表
2011.01	次世代電子機器設計システム「CR-8000」を世界同時発表
2013.09	アメリカ、シリコンバレーにZuken SOZO（創造）Centerを開設
2014.08	ドイツにグローバル・オートモーティブ＆トランスポーテーション・コンピテンス・センターを開設
2014.12	東洋ビジネスエンジニアリング（株）（現・ビジネスエンジニアリング（株））と資本業務提携
2015.02	（株）ダイバーシンクを設立
2015.03	インドにZuken India Private Limitedを設立
2015.07	（株）ワイ・ディ・シーの「CADVANCE事業」(電気系CAD・PDM関連事業)を継承
2016.04	プリサイト事業部を分社化し、（株）図研プリサイトとして発足
2017.12	アルファテック（株）（現・図研アルファテック（株））の発行済株式を100%取得
2019.08	Vitech Corporation（米）（現・Zuken Vitech Inc.）を買収
2019.10	図研モデリンクス（株）を設立

ZUKEN
The Partner For Success

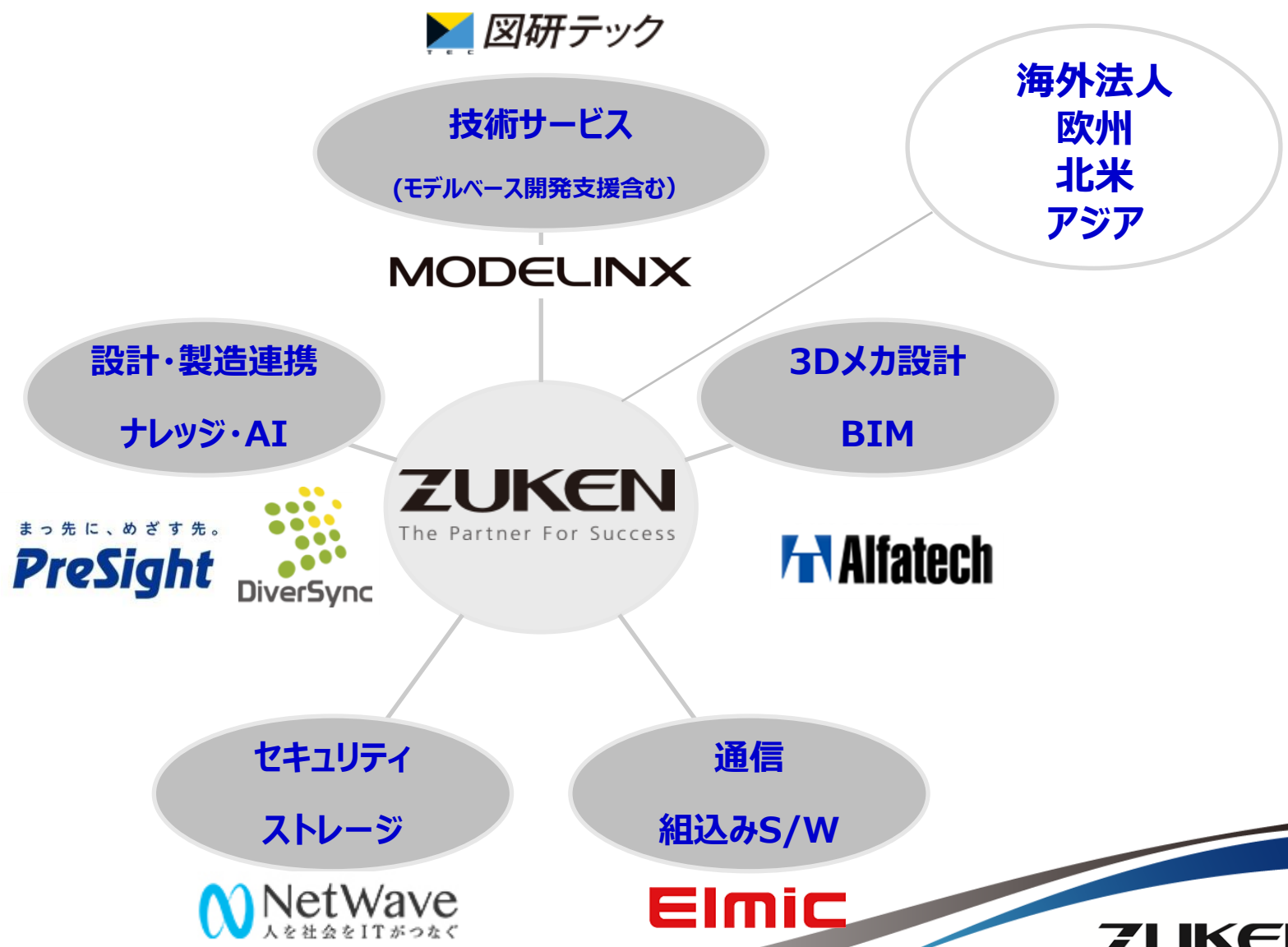
拠点および国内関連会社

本社・中央研究所	横浜市都筑区
国内拠点	横浜、大阪、名古屋
海外拠点	アジア５か国、欧米８か国
国内関連会社	7社 (図研テック・図研ネットウエイブ・図研エルミック・図研プリサイト・図研アルファテック・他２社)



ZUKEN
The Partner For Success

図研グループ



ZUKEN
The Partner For Success

＜ 注意事項 ＞

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれています。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際の業績等はこれらの影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。実際の業績等に影響を与えうるリスク・要素には、各国の経済情勢、顧客企業の設備投資の動向、市場の需要動向、製品の開発状況、他社との競合、為替レートの変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

なお、本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する現在の推定を表すものではなく、当社グループが事業戦略を遂行することにより達成しようと努める目標を表すものであります。

ZUKEN
The Partner For Success

The Partner For Success ZUKEN

お問い合せ先

株式会社 図 研
コーポレートマーケティング室
横浜市都筑区荏田東2-25-1
電話　045-942-1511（代表）